

# 令和4年度 一般会計予算

## 消防本部 主要事業説明資料

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	10,152千円		9,977千円	175千円	11,153千円		
	目	01 常備消防費						課	総務課
	事業	02 消防本部総務業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実								10,152
目的・趣旨	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。		主な財源						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費 676千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防長会、消防学校、京都府主催会議等</li> </ul> </li> <li>○交際費 50千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消防長交際費</li> </ul> </li> <li>○需用費 4,179千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務消耗品、職員被服等貸与品、図書、仮眠寝具購入等</li> </ul> </li> <li>○役務費 1,697千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話料金、郵便料金等 1,403千円</li> <li>・ 筆耕翻訳料 3千円</li> <li>・ 仮眠寝具クリーニング代、各種申請料 233千円</li> <li>・ 火災保険料 58千円</li> </ul> </li> <li>○委託料 1,320千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B型肝炎予防接種、健康診断委託料</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○使用料及び賃借料 663千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コピー機借上料、有料道路通行料等</li> </ul> </li> <li>○備品購入費 1,167千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防火服（4着）</li> </ul> </li> <li>○負担金 400千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全国消防長会会費、全国消防協会会費等</li> </ul> </li> </ul>						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 3,712千円	前年度予算額 3,570千円	増減額 142千円	参考R2決算額 3,339千円	部 消防本部	
	項	01 消防費						
	目	01 常備消防費						
	事業	03 救急救命士養成業務						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
			3,712					

目的・趣旨	医師の指示の下、救急車内等で処置ができる救急救命士を計画的に養成するとともに、気管挿管及びビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管内チューブによる高度な気道確保が可能な認定救命士の養成を行う。	主な財源	
-------	---	------	--

事業概要	<p>【令和4年度養成計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士：1人</li> <li>気管挿管認定救命士：1人</li> <li>気管挿管（ビデオ硬性喉頭鏡）認定救命士：3人</li> <li>病院研修：24人（対象者：運用救急救命士）</li> </ul> <p>【救急救命士認定・運用状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>有資格者数</td> <td colspan="2">(うち運用数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>29人</td> <td>(23人)</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与</td> <td>29人</td> <td>(23人)</td> </tr> <tr> <td>処置拡大</td> <td>26人</td> <td>(23人)</td> </tr> <tr> <td>気管挿管</td> <td>16人</td> <td>(13人)</td> </tr> </table> <p>※令和4年1月末現在</p>	有資格者数	(うち運用数)			29人	(23人)	薬剤投与	29人	(23人)	処置拡大	26人	(23人)	気管挿管	16人	(13人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ビデオ硬性喉頭鏡の講習等経費 197千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費、有料道路通行料 42千円</li> <li>・講習等負担金 65千円</li> <li>・病院実習負担金 90千円</li> </ul> </li> <li>○旅費 600千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士養成派遣に伴う旅費</li> </ul> </li> <li>○委託料 580千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士病院研修委託料</li> </ul> </li> <li>○負担金 2,335千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急救命士養成負担金 2,035千円</li> <li>・気管挿管実習負担金 300千円</li> </ul> </li> </ul>
	有資格者数	(うち運用数)															
	29人	(23人)															
薬剤投与	29人	(23人)															
処置拡大	26人	(23人)															
気管挿管	16人	(13人)															

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	4,616千円		4,465千円	151千円	1,746千円		
	目	01 常備消防費						課	総務課
	事業	04 消防学校等研修派遣業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実								4,616
目的・趣旨	複雑多様化・高度化する消防業務に対応するため、より専門的な講習会、研修等に参加し、最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図る。 また、消防活動上必要な各種資格を取得し、能力の向上に努める。		主な財源						
事業概要	○旅費 1,697千円 ・消防大学校、京都府立消防学校専科等研修、研究会等 1,533千円 ・各種資格取得、講習会 164千円		○負担金、補助金 2,685千円 ・消防大学校専科等研修、各種講習会等参加負担金 2,525千円 消防大学校研修派遣（上級幹部科、予防科） 2人 府立消防学校総合教育派遣 5人 府立消防学校各種専科（救助科、警防科等）教育派遣 10人 予防技術検定受験料 2人 潜水土受験料 1人 玉掛け、小型移動式クレーン資格取得 2人 無線従事者養成 1人 潜水技術研修派遣 1人 二級小型船舶操縦士受講参加 1人 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能 1人 フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会 2人 伐採等業務従事者特別教育 2人 ・大型自動車免許取得補助金（2人分、上限額80千円） 160千円						
	○委託料 61千円 ・バス運転委託料		○使用料 173千円 ・有料道路通行料 161千円 ・駐車場使用料 12千円						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R2決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	4,536千円		5,768千円		△ 1,232千円		5,688千円			
	目	01 常備消防費									課	総務課
	事業	05 予防・警防等業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							665	3,871			
目的・趣旨	<p>各種事業所への立ち入り検査、防火管理指導を積極的に行うとともに、防火チラシ・ポスターの作成配布、防火講習会などの火災予防啓発に取り組む。</p> <p>また、複雑多様化する各種災害における迅速かつ的確で安全な消防活動を支えるため、資機材及び装備の充実を図る。</p>		主な財源	手数料	消防手数料	509						
				諸収入	防火管理者資格取得講習料	156						
事業概要	○予防関係経費		702千円	○警防関係経費		3,834千円						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火ポスター記念品代等 9千円</li> <li>防火管理者講習会テキスト代、広報頒布材購入費 270千円</li> <li>火災予防運動チラシ（年2回）、防火ポスター印刷費 272千円</li> <li>通信運搬費 63千円</li> <li>原材料費（火災予防工作物等） 88千円</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品（消火用泡薬剤、備蓄食料等） 568千円</li> <li>修繕料（消防機械器具、水難救助備品等） 568千円</li> <li>手数料 798千円 （高圧ガス容器検査手数料、救助器具点検手数料等）</li> <li>ヘリポート草刈委託料 48千円</li> <li>訓練用車両借上料 30千円</li> <li>消火、救助活動関係備品等購入費 1,820千円 （消防用ホース、訓練用マット、水難救助潜水用具）</li> <li>ヘリポート航空用灯火負担金 2千円</li> </ul>								

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	17,766千円	8,280千円	9,486千円	12,032千円		
	目	01 常備消防費						
	事業	06 救急活動業務					課	総務課
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						40	17,726
目的・趣旨	救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。また、救命指示センターの医師との連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に努める。		主な財源	諸収入 救急救命臨地実習負担金 40				
事業概要	令和3年救急出動件数 2,473件 (前年比: 41件、1.7%増) 令和2年救急出動件数 2,432件 (前年比: △23件、0.9%減) 令和元年救急出動件数 2,455件 (前年比: △112件、4.4%減)				○委託料 2,100千円 ・京都市救命指示センター委託料 1,461千円 ・高度救急医療資機材点検保守委託料 639千円 ○備品購入費 10,000千円 ・自動体外式除細動器 3台 8,000千円 ・ビデオ硬性喉頭鏡 5台 2,000千円 ○負担金 822千円 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円 ・救急安心センターきょうと運営協議会負担金 702千円			
	○救急管外搬送旅費	41千円						
	○需用費	4,103千円						
	・救急活動消耗品費	3,900千円						
	・救急活動備品修繕費等	160千円						
	・医薬材料費	43千円						
	○役務費	700千円						
	・毛布クリーニング代、医療産廃処理手数料等	587千円						
	・救急救命士賠償・消防業務賠償責任保険	113千円						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	196,694千円		32,174千円	164,520千円	24,582千円		
	目	01 常備消防費						課	総務課
	事業	07 通信指令業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		3,000		163,900	500	19	29,275	
目的・趣旨	<p>365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等の緊急通報を受け付ける消防指令システムを有効かつ的確に運用できるよう維持管理を行い、各種災害に対応する。</p> <p>また、令和6年4月の運用開始を予定している、京都府中・北部地域指令業務の共同化に向け、消防指令事務協議会による高機能消防指令システム構築及び共同指令センターの改築に取り組む。</p>		国補 繰入金 諸収入 市債	新型ｺｳｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ感染症対応地方創生臨時交付金 3,000 新型ｺｳｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ感染症支え合い基金繰入金 500 西山中継局電源設備利用負担金 19 消防指令ｼｽﾃﾑ-共同化事業債（緊急防災・減災事業債） 163,900					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○報償費 45千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声吹込謝金</li> </ul> </li> <li>○需用費 3,800千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・指令書出力プリンタートナー等消耗品費 600千円</li> <li>・指揮台装置HDD交換、無線機用バッテリー等 3,200千円</li> </ul> </li> <li>○役務費 8,569千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTT回線使用料等</li> </ul> </li> <li>○委託料 16,506千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用電気工作物保安管理委託料 156千円</li> <li>・聴覚障害者用緊急WEB通報システム運用委託料 660千円</li> <li>・通信指令施設等保守管理委託料 14,551千円</li> <li>・緊急通報用電話発信地表示システム委託料 479千円</li> <li>・統合型位置情報通知システム光回線化委託料 660千円</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○Live119システム導入等経費 3,532千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム導入等委託料 1,850千円</li> <li>・受信用機器等（ノートパソコン1台、タブレット5台等） 1,100千円</li> <li>・通信運搬費 582千円</li> </ul> </li> <li>※通報現場の状況を映像でリアルタイムに伝送することにより、的確かつ迅速な初期対応を可能とするシステム。</li> <li>○負担金 164,242千円               <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防救急デジタル無線基地局電気料金負担金 180千円</li> <li>・緊急通報多言語対応システム負担金 55千円</li> <li>・京都府中・北部地域消防指令センター共同運用準備経費 163,957千円</li> <li>※高機能消防指令システム構築負担金 154,737千円</li> <li>※共同指令センター改築負担金 9,220千円</li> <li>・京都府中・北部地域消防指令事務協議会負担金 50千円</li> </ul> </li> </ul>						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費						
	目	01 常備消防費						
	事業	08 庁舎等維持管理事業						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
目的・趣旨	災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等維持管理を行う。		使用料	公有財産使用料				160
事業概要	消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所） 消防車両 20台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令・広報車5台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台、軽トラック1台）			○車両関係経費 8,921千円 ・燃料費（ガソリン、軽油等） 4,456千円 ・車検整備、修繕費 3,288千円 ・自動車登録手数料等 242千円 ・自動車損害保険料、自動車任意保険料等 396千円 ・自動車重量税 539千円				
	○消防庁舎関係経費 10,429千円 ・消耗品費（清掃用品、蛍光灯等） 400千円 ・燃料費（灯油、LPガス等） 1,709千円 ・光熱水費（上下水道料金、電気料金等） 7,252千円 ・修繕費（空調機器、網野分署脱衣場修繕等） 419千円 ・ごみ持込処理手数料、タイヤ処分手数料 56千円 ・委託料（空調設備、自家用電気工作物等） 416千円 ・清掃用具借上料 177千円							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	102,805千円	39,060千円	63,745千円	38,009千円		
	目	02 非常備消防費						
	事業	01 団員報酬						
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							102,805

目的・趣旨	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。	主な財源	
-------	-------------------------	------	--

事業概要	○消防団員報酬（団員数 1,611人 R4.4.1見込み）	61,805千円																																																								
	○出勤報酬	41,000千円																																																								
	・災害	15,000千円																																																								
	3時間以内の活動 3,000円/回																																																									
	3時間超5時間以内の活動 5,000円/回																																																									
	5時間超の活動 8,000円/回																																																									
	・訓練又は警戒 2,000円/回	26,000千円																																																								
	※令和4年度から、年額報酬及び出勤報酬を一部改定																																																									
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>階級</th> <th>年額</th> <th>人員</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団長</td> <td>189,000円</td> <td>1人</td> <td>189,000円</td> </tr> <tr> <td>副団長</td> <td>123,000円</td> <td>3人</td> <td>369,000円</td> </tr> <tr> <td>方面隊長</td> <td>123,000円</td> <td>6人</td> <td>738,000円</td> </tr> <tr> <td>副方面隊長</td> <td>96,000円</td> <td>6人</td> <td>576,000円</td> </tr> <tr> <td>分団長</td> <td>96,000円</td> <td>25人</td> <td>2,400,000円</td> </tr> <tr> <td>副分団長</td> <td>57,000円</td> <td>25人</td> <td>1,425,000円</td> </tr> <tr> <td>指導員</td> <td>57,000円</td> <td>25人</td> <td>1,425,000円</td> </tr> <tr> <td>部長</td> <td>43,000円</td> <td>69人</td> <td>2,967,000円</td> </tr> <tr> <td>班長</td> <td>40,000円</td> <td>148人</td> <td>5,920,000円</td> </tr> <tr> <td>団員</td> <td>36,500円</td> <td>1,247人</td> <td>45,515,500円</td> </tr> <tr> <td>支援団員</td> <td>5,000円</td> <td>56人</td> <td>280,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>1,611人</td> <td>61,804,500円</td> </tr> </tbody> </table>			階級	年額	人員	金額	団長	189,000円	1人	189,000円	副団長	123,000円	3人	369,000円	方面隊長	123,000円	6人	738,000円	副方面隊長	96,000円	6人	576,000円	分団長	96,000円	25人	2,400,000円	副分団長	57,000円	25人	1,425,000円	指導員	57,000円	25人	1,425,000円	部長	43,000円	69人	2,967,000円	班長	40,000円	148人	5,920,000円	団員	36,500円	1,247人	45,515,500円	支援団員	5,000円	56人	280,000円	合計		1,611人	61,804,500円
	階級	年額	人員	金額																																																						
団長	189,000円	1人	189,000円																																																							
副団長	123,000円	3人	369,000円																																																							
方面隊長	123,000円	6人	738,000円																																																							
副方面隊長	96,000円	6人	576,000円																																																							
分団長	96,000円	25人	2,400,000円																																																							
副分団長	57,000円	25人	1,425,000円																																																							
指導員	57,000円	25人	1,425,000円																																																							
部長	43,000円	69人	2,967,000円																																																							
班長	40,000円	148人	5,920,000円																																																							
団員	36,500円	1,247人	45,515,500円																																																							
支援団員	5,000円	56人	280,000円																																																							
合計		1,611人	61,804,500円																																																							
			※条例定数 1,730人																																																							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部																
	項	01 消防費																						
	目	02 非常備消防費																						
	事業	02 公務災害補償費等																						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																
目的・趣旨	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員や住民参加の防火防災訓練に対し、公務上の災害又は訓練の際に発生した事故に損害賠償や災害補償を行う。		主な財源	諸収入 消防団員公務災害補償金				300																
事業概要	○災害補償費（公務災害補償） 消防団員や地域住民が災害現場で活動中に負傷した場合、市消防団員等公務災害補償条例に基づき治療費等を支給。		300千円		○負担金				3,516千円															
					・消防団員等公務災害補償等共済掛金 3,466千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が、公務上と認められた場合に補償を行うための掛金																			
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>1人当たり掛金</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団員</td> <td>1,730人</td> <td>1,900円</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>50,860人</td> <td>3.5円</td> <td>179千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>3,466千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	人数	1人当たり掛金	金額	団員	1,730人	1,900円	3,287千円	市民	50,860人	3.5円	179千円	合計			3,466千円	
区分	人数	1人当たり掛金	金額																					
団員	1,730人	1,900円	3,287千円																					
市民	50,860人	3.5円	179千円																					
合計			3,466千円																					
				※団員数：令和3年10月1日現在の条例定数、人口：R2国勢調査人口  ・防火防災訓練災害補償等共済掛金 50千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対して、補償を行うための掛金																				

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 33,216千円	前年度予算額 33,216千円	増減額 0千円	参考R2決算額 88,960千円	部 課	消防本部
	項	01 消防費						消防本部
	目	02 非常備消防費						消防本部
	事業	03 団員退職報償金						消防本部
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							33,216
目的・趣旨	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。		主な財源					
事業概要	○消防団員退職報償金掛金 33,216千円 条例定数 1,730人 × 19,200円 = 33,216千円 (令和3年10月1日現在)							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	85,931千円		106,215千円	△ 20,284千円	83,653千円		
	目	02 非常備消防費						課	総務課
	事業	04 消防団活動運営事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実								85,931
目的・趣旨	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。		主な財源						
事業概要	○報償費		32,372千円		○役務費		3,238千円		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団運営活動費（団員数1,611人 R4.4.1見込み）本部、方面隊、分団、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊、支援隊 28,527千円</li> <li>操法大会訓練謝金ほか（市大会、府大会出場分団等） 3,651千円</li> <li>報償物品（表彰状、表彰徽章） 194千円</li> </ul>		※令和4年度から、年額報酬及び出動報酬の一部改定に伴い、活動費を見直し		<ul style="list-style-type: none"> <li>筆耕料（定例表彰等） 62千円</li> <li>手数料（ごみ処理、消防ポンプ点検等） 1,541千円</li> <li>保険料（火災保険、自賠責保険、任意保険） 1,635千円</li> </ul>		○委託料 507千円		
○旅費		4,956千円		○使用料及び賃借料		1,968千円			
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防学校入校、京都府消防操法大会等</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>会場設営委託料（操法大会） 432千円</li> <li>機器保守点検委託料（AED9台） 75千円</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大型バス借上（消防学校入校、操法大会等） 1,760千円</li> <li>会場使用料（出初式） 101千円</li> <li>土地借上料（消防車庫用地、防火水槽用地） 107千円</li> </ul>			
○需用費		37,588千円		○備品購入費（消防用ホース、車載消火器）		3,000千円			
<ul style="list-style-type: none"> <li>新基準型活動服（1,611着） 20,000千円</li> <li>編上靴、水利標識板、コロナ対策等消耗品 3,200千円</li> <li>消防自動車（83台）燃料費、修繕料 11,898千円</li> <li>光熱水費（消防車庫等施設） 2,383千円</li> <li>印刷製本費（「火の用心」ステッカー） 107千円</li> </ul>				○負担金、補助及び交付金		585千円			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>京都府消防協会支部負担金 255千円</li> <li>準中型免許等取得補助金（3人、補助率2/3、上限110千円） 330千円</li> </ul>		○公課費（自動車重量税） 1,717千円			

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部													
	項	01 消防費	19,464千円	19,464千円	0千円	19,476千円															
	目	02 非常備消防費																			
	事業	05 消防設備維持管理事業					課	総務課													
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源													
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							19,464													
目的・趣旨	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて水道事業会計へ繰り出すもの。		主な財源																		
事業概要	○水道事業会計繰出金 3,244基×6,000円/基 19,464千円																				
	【消火栓設置数】 <table border="1"> <tr><td>峰山町</td><td>459基</td></tr> <tr><td>大宮町</td><td>499基</td></tr> <tr><td>網野町</td><td>604基</td></tr> <tr><td>丹後町</td><td>378基</td></tr> <tr><td>弥栄町</td><td>353基</td></tr> <tr><td>久美浜町</td><td>951基</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,244基</td></tr> </table>		峰山町	459基	大宮町	499基	網野町	604基	丹後町	378基	弥栄町	353基	久美浜町	951基	合計	3,244基					
峰山町	459基																				
大宮町	499基																				
網野町	604基																				
丹後町	378基																				
弥栄町	353基																				
久美浜町	951基																				
合計	3,244基																				

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R2決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	73,221千円		46,168千円		27,053千円		30,927千円			
	目	03 消防施設費									課	総務課
	事業	01 常備消防施設等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		21,099				51,900				222	
目的・趣旨	災害発生時に迅速かつ的確に対応するとともに、地域住民の安全・安心の確保を図るため、老朽化した化学消防ポンプ自動車を更新整備する。		主な財源	国補	消防防災施設整備費補助金							21,099
				市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）							51,900
事業概要	【化学消防ポンプ自動車の更新整備】											
	配備先：峰山消防署 ※14年経過											
	○役務費		122千円									
	・自動車登録手数料、自動車リサイクル料		108千円									
	・自動車賠償責任保険、任意保険		14千円									
○備品購入費		73,000千円										
・化学消防ポンプ自動車 1台												
○公課費		99千円										
・自動車重量税												

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	61,983千円		80,251千円	△ 18,268千円	57,398千円		課
	目	03 消防施設費						国庫支出金	
	事業	02 非常備消防施設等整備事業							
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		1,605	5,500	53,100				1,778
目的・趣旨	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。 また、消防団車両を格納するための消防車庫を更新整備する。		主な財源	国補	消防団設備整備費補助金				1,605
				府補	地域防災力総合支援事業補助金				5,500
				市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）				27,300
				市債	消防自動車整備事業債（過疎対策債）				3,200
				市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）				22,600
事業概要	【消防車両等整備】		33,131千円	【消防車庫等整備】		28,852千円			
	峰山第5分団第2部（矢田） ※24年経過 網野第1分団第2部（掛津） ※24年経過 ○役務費 65千円 ・自動車登録手数料、自動車リサイクル料 40千円 ・自動車賠償責任保険、任意保険 25千円 ○備品購入費 33,000千円 ・多機能型小型動力ポンプ付積載車（2台） ○公課費 66千円 ・自動車重量税			島津消防車庫（網野第1分団第1部） 整備場所：網野町島津地内 構造・面積：鉄骨造平屋建・約33㎡ ○役務費（水道開栓手数料、火災保険料等） 5千円 ○委託料（工事監理委託料） 800千円 ○工事請負費（消防車庫建築工事） 28,000千円 ○負担金（水道加入分担金） 47千円					

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	43,000千円	39,467千円	3,533千円	16,979千円		
	目	03 消防施設費						
	事業	03 消防水利等整備事業						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
			5,486		32,000			5,514

目的・趣旨	防火水槽は火災における確実な消防水利として迅速かつ確かな消防活動を行うことができるため、充足率の低い地域を優先して計画的に整備する。 また、老朽化した消火栓ホース格納箱など消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。	主な財源	国補	消防防災施設整備費補助金	5,486
			市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）	32,000

事業概要	○需用費	300千円	○備品購入費（消火栓備品）	3,400千円
	・修繕料（消火栓修繕）			
	○工事請負費	39,300千円		
	・耐震性貯水槽新設工事（2基）	23,000千円		
	耐震性貯水槽（40㎡）（久美浜町安養寺、久美浜町浦明）			
	・消火栓設置工事（24基）	16,300千円		

品名	数量
屋外型ホース格納箱（スチール製）	110台
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	90台
消火栓用ホース	110本
管ぞう（ストレートノズル）	30本
消火栓開閉ハンドル（地上式用）	30本
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	30本
スタンドパイプ（地下式用）	30本

区分	設置	数量
新設	地下式	1基
更新	地上式	3基
上水道工事に伴う更新	地下式	9基
上水道工事に伴う更新	地上式	3基
下水道工事に伴う更新	地下式	6基
道路改修に伴う新設・更新	地上式	2基

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R2決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	1,412千円	6,253千円	△ 4,841千円	15,177千円		
	目	03 消防施設費						
	事業	50 消防施設一般経費					課	総務課
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							1,412
目的・趣旨	消防活動を円滑に行うため、消防資機材、車庫及び消防水利等の維持管理を行う。		主な財源					
事業概要	○需用費 1,263千円 ・光熱水費（小西川可動堰等電気代） 63千円 ・修繕料（維持補修費） 1,200千円 消防車庫、防火水槽等修繕  ○使用料及び賃借料 149千円 ・デジタル簡易無線局電波利用料							